

## 男子決勝戦評

チーム名		3		16		チーム名
ボنز茨城	28	4	VS	10	53	田彦
		11		12		
		10		15		
1Q	<p>前年度覇者ボンズ茨城に田彦が挑む構図となった。ボンズ#3のボールからスタート。開始早々田彦#6にフリースロー、1本決め先制点を決め0-1。展開速くボンズが追い上げる。ボンズ#23がフリースローに挑むも外してしまいお互い譲らない形が鮮明となる。ボンズの1対1のテクニックに田彦が翻弄されるもパスカットを積極的に狙い田彦#4がフリースローのチャンスを得て2本決め2-7。ボンズも積極的に仕掛けるも、なかなか得点に結びつかず田彦にカットを狙われてしまい、得点を次々と許してしまい3-16終了。</p>					
2Q	<p>序盤からボンズは積極的にシュートを狙いに行く。ボンズの堅い守備に田彦も安定したシュートを決めきれない状況が続く。対決はボンズ#5と田彦#7の戦いに会場が活気に満ちている。開始3:20に田彦#7がダンクシュートを決め一気に会場のボルテージが上がり、ボンズがタイムアウトをとって選手に再度ベンチから指示を伝える。しかし、互いに得点を量産できず試合は進むみ7-26で田彦が大きくリードし前半終了。</p>					
3Q	<p>後半は田彦ボールでスタート、パスカットを狙いボンズが攻撃を仕掛け9-26。ボンズも怒涛の攻撃を仕掛けるていくボンズ#5が息を吹き返しシュート路次々と決め13-30で試合は中盤に。田彦はボンズのディフェンスに苦戦するも点数を確実に決めていくもボンズのオフenseに田彦も苦戦しており、18-38で3Q終了。</p>					
4Q	<p>ボンズの#5がファウルをもらいフリースローを1本決めて21-40。ボンズはパスワークをうまく使いながら得点にからもうとするも苦戦し田彦から点数を奪えない。一方田彦は、#7の身長を生かしたプレーを続けるが堅いボンズのディフェンスにこちらも苦戦しており25-47でタイムアウトを求めた。その後も、ボンズはなかなか得点が伸び悩み、田彦は#7を起点にしたプレーが功を奏し28-53で試合終了。この身長を生かしたプレーを全国大会でも見てみたい。</p>					